平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名　株式会社中山製鋼所　　上場取引所　東
コード番号　5408　URL　http://www.nakayama-steel.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 森田　俊一
問合せ先責任者 (役職名) 経営本部長兼経理部長　(氏名) 阪口　光昭　TEL 06-6555-3035

四半期報告書提出予定日　平成25年11月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	62,322	△15.5	1,506	―	895	―	65,096	―
25年3月期第2四半期	73,784	△14.9	△3,297	―	△4,183	―	△4,662	―

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　65,760百万円　(―%)　25年3月期第2四半期　△5,214百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	234.75	―
25年3月期第2四半期	△36.22	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	117,076	51,913	44.3	95.88
25年3月期	109,736	△15,863	△24.9	△212.68

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　51,913百万円　25年3月期　△27,373百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―	0.00			
26年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	△8.2	3,500	―	2,000	―	66,000	―	161.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	630,792,561 株	25年3月期	131,383,661 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	89,346,645 株	25年3月期	2,677,402 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	277,303,716 株	25年3月期2Q	128,710,699 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.　当四半期決算に関する定性的情報 ……2
(1) 経営成績に関する説明 ……2
(2) 財政状態に関する説明 ……3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……4
2.　サマリー情報（注記事項）に関する事項 ……4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
3.　四半期連結財務諸表 ……5
(1) 四半期連結貸借対照表 ……5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……9
（継続企業の前提に関する注記） ……9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……9
（セグメント情報等） ……9
（重要な後発事象） ……10
4.　その他 ……11
参考資料 ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による経済政策の効果や円安の継続を背景に、景況感の好転やデフレ脱却の動きが見られるものの、鉄鋼業界では、中国の供給過剰によるアジア鉄鋼需給の緩和、電力問題を始めとする様々なコストアップ懸念など、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、前連結会計年度に作成しました事業再生計画に沿って、下記の財務にかかる施策を実行いたしました。

まず、平成25年７月９日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、中山三星建材株式会社、中山通商株式会社、三星商事株式会社、三星海運株式会社及び三泉シヤー株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を行いました。これに伴い、負ののれん発生益70億31百万円を特別利益に計上し、資本剰余金が46億53百万円増加いたしました。

平成25年６月20日付の「債務免除等の金融支援に関するお知らせ」に記載のとおり、株式会社地域経済活性化支援機構及び当社に対して金融債権を有する関係金融機関等より債務免除等の金融支援に関する同意を頂いたことにより、平成25年８月27日付で関係金融機関等より602億９百万円の債務免除を受け、同額の債務免除益を特別利益に計上いたしました。

なお、当社は、企業再生税制の下で、事業再生計画に基づいた評価損益が税務上において計上され、これに伴って生じる将来加算一時差異に対して繰延税金負債を認識したことにより、法人税等調整額24億75百万円を計上いたしました。

また、当社は、平成25年８月27日に新日鐵住金株式会社、阪和興業株式会社、日鐵商事株式會社（現日鉄住金物産株式会社）、エア・ウォーター株式会社、大阪瓦斯株式会社、及び大和ＰＩパートナーズ株式会社を引受先とする第三者割当増資を実行いたしました。これにより、当社は346,636千株の新株式を発行するとともに、90億12百万円の払い込みを受け、資本金、資本剰余金ともにそれぞれ45億６百万円増加いたしました。

これらの施策の実行により、当社グループの財務状況は大幅に改善し、第１四半期連結会計期間末における債務超過の状況は解消いたしました。

さらに、昨年８月から進めてまいりました厚板工場休止など不採算製品・事業からの撤退等により組織のスリム化を徹底するとともに、工場運営の効率化や徹底したコスト削減等をグループ一丸となって進めてまいりました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高623億22百万円(前年同期比114億61百万円減)、営業利益15億６百万円(前年同期比48億３百万円の増益)、経常利益８億95百万円(前年同期比50億78百万円の増益)、四半期純利益650億96百万円(前年同期比697億58百万円の増益)となり、第２四半期連結累計期間においては、営業利益、経常利益は３年ぶりに、四半期純利益は５年ぶりに黒字化を達成いたしました。

なお、当第２四半期連結会計期間において、営業外費用に支払利息などを５億66百万円、特別利益には上記の通り債務免除益、負ののれん発生益など672億53百万円、法人税、住民税及び事業税を２億51百万円、法人税等調整額を24億94百万円計上しております。この結果、当第２四半期連結累計期間において、営業外費用を10億51百万円、特別利益を673億53百万円、法人税、住民税及び事業税を３億71百万円、法人税等調整額を26億78百万円、それぞれ計上いたしました。

当第２四半期連結累計期間における各セグメントの業績は、次のとおりであります。

鉄鋼につきましては、主原料価格や電力料金などのユーティリティコストが上昇する中で、不採算製品の販売の絞り込みなどにより鋼材販売数量は減少しましたが、鋼材販売価格の改善を図るとともに、一層のコスト削減を推し進めた結果、売上高は612億22百万円(前年同期比32億87百万円減)、経常利益は９億84百万円(前年同期比51億３百万円の増益)となりました。

エンジニアリングにつきましては、建設事業の撤退により受注量が減少したものの、固定費の削減を進めたことなどで、売上高は７億73百万円(前年同期比４億３百万円減)、経常利益は59百万円(前年同期比26百万円の増益)となりました。

不動産につきましては、賃貸収入を中心に安定した収益を確保したことに加え、遊休地の賃貸活用を促進したことにより、売上高は３億26百万円(前年同期比60百万円増)、経常利益は１億67百万円(前年同期比39百万円の増益)となりました。

なお、化学につきましては、前第４四半期連結会計期間に南海化学株式会社及び富士アミドケミカル株式会社を連結の範囲から除外したことにより、当第２四半期連結累計期間の実績はございません。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、1,170億76百万円となり、前連結会計年度末と比べ73億40百万円増加しました。これは主として、第三者割当増資の払い込みにより現金及び預金が増加したこと、ならびに商品及び製品が増加したことによるものであります。

負債については、651億63百万円となり、前連結会計年度末と比べ604億36百万円減少しました。これは主として、繰延税金負債が増加しましたものの、関係金融機関より債務免除をいただいたことにより長短借入金が減少したことと、法人税等の納付により未払法人税等が減少したことによるものであります。

純資産については、519億13百万円となり、前連結会計年度末と比べ677億77百万円増加し、債務超過の状況を解消しました。これは主として、債務免除益の計上などにより利益剰余金が増加したこと、第三者割当増資の実行により資本金および資本剰余金が増加したことによるものであります。なお、株式交換を実行し連結子会社５社を完全子会社化したことにより、少数株主持分をすべて取り崩しましたが、負ののれん発生益の計上による利益剰余金と資本剰余金がそれぞれ増加しております。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループを取り巻く環境につきましては、復興需要や緊急経済対策に伴う公共投資の増加などにより、建築土木向けを中心に国内鋼材需要は堅調に推移すると思われますが、中国の鋼材供給過剰や電力料金の動向などの懸念材料もあり、先行き不透明な状況が続くものと考えられます。

このような環境の下、当社グループは、事業再生計画に沿って、鉄源の多様化による安価な輸入主原料の購入の増加や徹底したコスト削減への取り組みによって収益確保に努めてまいるとともに、中高級鋼の拡販を推し進め、顧客の皆様のご理解を得ながら鋼材販売価格の改善に取り組んでまいります。

以上の状況並びに本日公表しました「企業再生の税務処理にかかる税効果会計の影響および平成26年３月期第２四半期連結累計期間の連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ」に記載の当第２四半期連結累計期間の経常利益における増益要因が当下期において不確定要素であることを考慮し、平成26年３月期の通期連結業績予想につきまして、前回予想（平成25年８月７日公表）から、売上高、営業利益および経常利益は据え置き、当期純利益のみ「（１）経営成績に関する説明」に記載の企業再生税制の適用に伴う法人税等調整額の影響を含めて見直しております。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,045	29,169
受取手形及び売掛金	27,639	27,875
商品及び製品	9,369	10,630
仕掛品	2,146	2,262
原材料及び貯蔵品	6,046	5,888
繰延税金資産	273	87
その他	1,820	857
貸倒引当金	△236	△119
流動資産合計	69,106	76,652
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,342	4,355
機械及び装置（純額）	5,575	5,228
土地	24,810	24,763
その他（純額）	632	560
有形固定資産合計	35,360	34,908
無形固定資産	224	208
投資その他の資産		
投資有価証券	2,975	3,382
繰延税金資産	1	1
その他	2,161	2,003
貸倒引当金	△93	△79
投資その他の資産合計	5,045	5,307
固定資産合計	40,629	40,424
資産合計	109,736	117,076
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,218	14,824
短期借入金	69,873	3,582
未払金	1,869	1,114
未払費用	1,595	1,178
未払法人税等	1,044	144
繰延税金負債	―	14
賞与引当金	337	379
その他	968	397
流動負債合計	89,906	21,634

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
固定負債		
長期借入金	25,694	31,336
繰延税金負債	3,393	5,805
再評価に係る繰延税金負債	1,890	1,518
退職給付引当金	1,969	1,990
役員退職慰労引当金	2	3
環境対策引当金	175	153
特別修繕引当金	13	－
負ののれん	1,487	1,394
その他	1,067	1,327
固定負債合計	35,693	43,528
負債合計	125,599	65,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,538	20,044
資本剰余金	10,338	19,498
利益剰余金	△56,725	8,371
自己株式	△598	△770
株主資本合計	△31,446	47,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	709	1,033
土地再評価差額金	3,364	3,736
その他の包括利益累計額合計	4,073	4,770
少数株主持分	11,509	－
純資産合計	△15,863	51,913
負債純資産合計	109,736	117,076

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	73,784	62,322
売上原価	69,962	55,801
売上総利益	3,821	6,520
販売費及び一般管理費		
販売費	3,294	2,453
一般管理費	3,824	2,560
販売費及び一般管理費合計	7,119	5,014
営業利益又は営業損失（△）	△3,297	1,506
営業外収益		
受取利息	8	14
受取配当金	74	34
貸倒引当金戻入額	46	123
負ののれん償却額	164	92
持分法による投資利益	7	－
その他	301	175
営業外収益合計	602	440
営業外費用		
支払利息	822	605
持分法による投資損失	－	15
その他	666	430
営業外費用合計	1,488	1,051
経常利益又は経常損失（△）	△4,183	895
特別利益		
債務免除益	－	60,209
負ののれん発生益	896	7,031
固定資産売却益	104	99
特別修繕引当金戻入額	－	13
投資有価証券売却益	337	－
特別利益合計	1,337	67,353
特別損失		
特別退職金	227	67
減損損失	376	－
退職給付費用	375	－
固定資産売却損	323	－
固定資産除却損	286	－
たな卸資産評価損	162	－
事業構造改善引当金繰入額	9	－
特別損失合計	1,762	67
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△4,608	68,181
法人税、住民税及び事業税	361	371
法人税等調整額	△316	2,678
法人税等合計	45	3,050
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△4,653	65,131
少数株主利益	8	34
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△4,662	65,096

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△4,653	65,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△558	256
土地再評価差額金	－	372
繰延ヘッジ損益	△0	－
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△560	629
四半期包括利益	△5,214	65,760
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,208	65,793
少数株主に係る四半期包括利益	△5	△32

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

平成25年７月９日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、中山三星建材株式会社、中山通商株式会社、三星商事株式会社、三星海運株式会社及び三泉シヤー株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を行ったことにより、負ののれん発生益7,031百万円を特別利益に計上したことで同額の利益剰余金が増加し、さらに資本剰余金は4,653百万円増加しました。

また、当社は平成25年８月27日付で関係金融機関等より60,209百万円の債務免除を受け、債務免除益60,209百万円を特別利益に計上したことにより、同額の利益剰余金が増加しております。

さらに、当社は平成25年８月27日に新日鐵住金株式会社、阪和興業株式会社、日鐵商事株式會社（現日鉄住金物産株式会社）、エア・ウォーター株式会社、大阪瓦斯株式会社、及び大和ＰＩパートナーズ株式会社を引受先とする第三者割当増資を実行したことにより、資本金および資本剰余金はそれぞれ4,506百万円増加しております。

以上の結果、当第２四半期連結会計期間末において、資本金は20,044百万円（前連結会計年度末15,538百万円）、資本剰余金は19,498百万円（前連結会計年度末10,338百万円）、利益剰余金は8,371百万円（前連結会計年度末△56,725百万円）、自己株式は△770百万円（前連結会計年度末△598百万円）となり、株主資本合計は47,143百万円（前連結会計年度末△31,446百万円）となりました。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額
	鉄鋼	エンジニアリング	不動産	化学	計		
	（百万円）	（百万円）	（百万円）	（百万円）	（百万円）	（百万円）	（百万円）
売上高							
外部顧客への売上高	64,509	1,177	266	7,831	73,784	―	73,784
セグメント間の内部売上高又は振替高	136	34	203	0	374	△374	―
計	64,645	1,211	470	7,831	74,158	△374	73,784
セグメント利益又は損失（△）（経常利益又は経常損失(△)）	△4,118	33	127	64	△3,893	△289	△4,183

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利　益　又　は　損　失	金　　額（百万円）
報告セグメント計	△3,893
セグメント間取引消去	△11
全社営業外損益（注）	△277
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△4,183

（注）全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	鉄鋼	エンジニアリング	不動産	計		
	（百万円）	（百万円）	（百万円）	（百万円）	（百万円）	（百万円）
売上高						
外部顧客への売上高	61,222	773	326	62,322	―	62,322
セグメント間の内部売上高又は振替高	162	24	138	324	△324	―
計	61,384	798	464	62,647	△324	62,322
セグメント利益（経常利益）	984	59	167	1,212	△317	895

２．報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利　益　又　は　損　失	金　　額（百万円）
報告セグメント計	1,212
セグメント間取引消去	△15
全社営業外損益（注）	△301
四半期連結損益計算書の経常利益	895

（注）全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

４．その他

参考資料

（単　独）　損　益　計　算　書

（単位：百万円）

	平成２４年度上期 ①	平成２５年度上期 ②	増　減 前年同期比 (②－①)
売　　上　　高	43,761	43,384	△ 376
売　上　原　価	44,433	40,333	△ 4,100
販売費及び一般管理費	3,341	2,568	△ 773
営　業　費　用	47,775	42,901	△ 4,873
営業利益又は営業損失（△）	△ 4,014	482	4,497
営　業　外　損　益	△ 1,033	△ 866	167
経 常 損 失（△）	△ 5,047	△ 383	4,664
特　別　損　益　など	△ 715	57,778	58,493
四半期純利益又は 四半期純損失（△）	△ 5,762	57,394	63,157

（単　独）　売　上　高　内　訳　表

（単位：百万円）

		平成２４年度上期 ①	平成２５年度上期 ②	増　減 前年同期比 (②－①)
鋼　　材		38,908	39,368	460
販売数量	千ﾄﾝ	(568.5)	(553.5)	(△ 14.9)
販売単価	千円/ﾄﾝ	(68.4)	(71.1)	(2.7)
そ　　の　　他		4,853	4,015	△ 837
合　　計		43,761	43,384	△ 376
（うち、輸出）		(254)	(204)	(△ 50)